

JRIS

鉄道車両一床敷物

JRIS J 0745 : 2006

(JARI)

平成 18 年 12 月 25 日 制定

日本鉄道車輛工業会規格審査会 審議

(社団法人 日本鉄道車輛工業会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

日本鉄道車輛工業会規格審査会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	田 中 眞 一	財団法人 研友社
(委員)	河 合 篤 篤	国土交通省 鉄道局
	宮 本 昌 幸	明星大学
	高 原 英 明	明星大学
	古 関 隆 章	東京大学 大学院
	岡 本 勲	財団法人 鉄道総合技術研究所
	新 井 静 男	東日本旅客鉄道株式会社
	加 藤 秀 一	東京地下鉄株式会社
	堀 江 富士雄	近畿車輛株式会社
	堀 江 哲	株式会社日立製作所
	岡 方 義 則	住友金属工業株式会社
	溝 口 正 仁	社団法人 日本鉄道車輛工業会
(顧問)	井 口 雅 一	東京大学 名誉教授
(事務局)	下 村 孝	社団法人 日本鉄道車輛工業会

日本鉄道車輛工業会 基準整備委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	手 塚 和 彦	財団法人 鉄道総合技術研究所
(委員)	佐 藤 公 一	川崎重工業株式会社
	山 口 隆	日本車輛製造株式会社
	河 口 清	近畿車輛株式会社
	川 端 俊 夫	東急車輛製造株式会社
	尾 藤 千 秋	新潟トランス株式会社
	持 留 裕 之	三菱重工業株式会社
	和 嶋 武 典	株式会社日立製作所
	大 西 利 之	株式会社東芝
	塩 見 省 吾	三菱電機株式会社
	尾 崎 覚	富士電機システムズ株式会社
	細 田 芳 男	東洋電機製造株式会社
	岡 方 義 則	住友金属工業株式会社
	栄 籙 忠 重	ナブテスコ株式会社
	新 井 衛	日本信号株式会社
	島 添 敏 之	株式会社京三製作所
(顧問)	田 中 眞 一	財団法人 研友社
(鉄車工委員)	佐 藤 芳 彦	社団法人 海外鉄道技術協力協会
	溝 口 正 仁	社団法人 日本鉄道車輛工業会
	下 村 孝	社団法人 日本鉄道車輛工業会
	宗 像 政 美	社団法人 日本鉄道車輛工業会
	川 平 吉 郎	社団法人 日本鉄道車輛工業会

制 定 : 社団法人 日本鉄道車輛工業会 会長

掲 示 : 鉄道車両工業 ; 工業会のホームページ : URL ; <http://www.tetsushako.or.jp>

発 行 者 : 社団法人 日本鉄道車輛工業会

(〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-2 NTT-TEL ; 03-3257-1901 NTT-FAX ; 03-3257-3200)

審 査 : 日本鉄道車輛工業会規格審査会

作成委員会 : 当工業会基準整備委員会

この規格についての意見又は質問は、当工業会をお願いします。

なお、この規格は、原則として5年を経過する日までに確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類及び構造	1
4.1 種類	1
4.2 構造	2
5 特性	3
6 材料及び製造方法	6
6.1 材料	6
6.2 製造方法	6
7 試験方法	6
7.1 一般試験条件	6
7.2 外観試験	6
7.3 構造試験	7
7.4 質量試験	7
7.5 引張強度試験	7
7.6 伸び試験	7
7.7 へこみ試験	7
7.8 残留へこみ試験	7
7.9 加熱寸法変化試験	7
7.10 加熱減量試験	7
7.11 汚染性試験	7
7.12 滑り性試験	7
7.13 摩耗性試験	7
7.14 柔軟性試験	8
7.15 層間はく離強度試験	8
7.16 耐シガレット性試験	8
7.17 耐燃焼性試験	8
7.18 発煙性試験	8
7.19 燃焼ガス分析	8
8 試験	8
8.1 形式試験	8
8.2 受渡試験	8
8.3 調査試験	8
9 表示及び包装	9
10 施工時の注意事項	9

まえがき

この規格は、床敷物の規定を、“日本鉄道車輛工業会規格（以下、鉄車工規格という。）の制定に関する規程”の規定に則り“鉄車工規格審査会”の審議を経て、日本鉄道車輛工業会会長が制定したものである。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。会長及び鉄車工規格審査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

JRIS “J シリーズ” 制定の背景

日本国有鉄道が制定した鉄道に関わる規格（JRS）は、1987（昭和 62）年の国鉄の分割民営化時点で、公的な効力が終了し、以後、この規格を維持管理する体制がなくなった。しかし、鉄道車両の分野においては、この JRS の規定内容を該当する仕様書又は図面中に再掲する方法で活用する例が数多くある。

そこで、鉄道車両の分野で、今後も継続して利用する可能性の高い JRS の内容は、現在の技術レベルでの見直しを行った後に、鉄車工規格として受け入れ制定・登録することとした。

この規格は、JRS をベースにしていなが、規格体系をそろえるため、JRS をベースにしている塩化ビニルと同じ製品グループの番号を割り振っている。したがって、従来の JRS 番号との関連はない。

JRIS は、関係する技術分野に応じて五つに区分した体系で構成している。

この規格の“J シリーズ”のほかに、“D”、“E”、“R”及び“W”シリーズがある。

鉄道車両一床敷物

Rolling stock - Resilient floor coverings

1 適用範囲

この規格は、鉄道車両の床部分に使用する高分子系床敷物（以下、“床敷物”という。）について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版だけがこの規格の規定を構成するものであって、その後の改正版・追補には適用しない。西暦年を付記していない引用規格は、その最新版を適用する。

JIS A 0201 建築用内外装材料用語

JIS A 1453:1973 建築材料及び建築構成部分の摩耗試験方法（研摩紙法）

JIS A 1454:2005 高分子系張り床材試験方法

JIS A 5705:2005 ビニル系床材

JIS E 4001 鉄道車両用語

JIS K 0804 検知管式ガス測定器（測長形）

JIS K 6251:2004 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム－引張特性の求め方

JIS K 6900 プラスチック－用語

ASTM E 662 Standard Test Method for Specific Optical Density of Smoke Generated by Solid Materials
（固形物燃焼時の発煙係数を求める標準試験方法）

注記 ASTM : American Society for Testing and Materials（米国材料試験協会）

規格概要につき以下は省略する。